
第 29 回
日本家族社会学会大会
プログラム

2019年9月14日（土）・15日（日）

開催校・会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

大会日程

会場：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス D号館

▼第1日 2019年9月14日(土) 受付開始 09:15～ D号館2階 ラーニングラウンジ

10:00～ 12:30	自由報告(1) ① 格差・階層 ② 家族意識 ③ 家族政策 テーマセッション(1)企画全体提案型:第4回全国家族調査(NFRJ18)ー特徴と現状	D212 教室 D213 教室 D217 教室 D218 教室
12:30～ 14:00	昼休み 編集委員会 (D205 教室) 研究活動委員会 (D206 教室) 庶務委員会 (D208 教室) 学会賞委員会 (D208 教室)	
13:00～ 14:00	ポスターセッション(質疑応答時間。掲示は1日目 12:30～2日目 13:45)	D216 教室
14:00～ 16:30	自由報告(2) ④ 出生 ⑤ ケア ⑥ 歴史・人口 国際セッション:ひとり親家族支援の日韓比較	D212 教室 D213 教室 D217 教室 D218 教室
16:45～ 18:00	総会・学会賞授賞式	D201 教室
18:15～ 19:45	懇親会	D号館1階 Food Court Seagull

▼第2日 2019年9月15日(日) 受付開始 08:45～

9:15～ 10:45	自由報告(3) ⑦ 育児 ⑧ 結婚・シングル ⑨ ネットワーク・世代間関係1 ラウンドテーブル:英語での論文刊行を目指す研究者のためのワークショップ	D212 教室 D213 教室 D217 教室 D218 教室
11:00～ 13:00	自由報告(4) ⑩ ひとり親 ⑪ 家事・育児 ⑫ ネットワーク・世代間関係2 国際セッション:アジア諸国における少子化ー教育との関係に注目して	D212 教室 D213 教室 D217 教室 D218 教室
13:00～ 14:00	昼休み 編集委員会 (D205 教室) 研究活動委員会 (D206 教室) 庶務委員会 (D208 教室) 学会賞委員会 (D208 教室)	
14:00～ 16:30	公開シンポジウム:高齢社会における生/死と家族	D201 教室

会員控室 D214教室、書籍販売コーナー、抜き刷り交換コーナー D215教室、クローク D207教室

大会本部 D207 教室、理事会 D204 教室、理事控え室 D208 教室

大会プログラム

第1日目 9月14日(土)

受付時間 9:15~

午前の部 10:00~12:30

自由報告(1)

①格差・階層(D212教室)

司会 平沢和司(北海道大学)

- ①-1 教育格差のかくれた背景—「準拠枠としてのネットワーク論」の妥当性— 荒牧草平(日本女子大学)
- ①-2 就業経歴類型からみる出産・育児期女性の働きかたの時代的变化とその要因分析 麦山亮太(一橋大学, 日本学術振興会)
- ①-3 初婚行動と出生行動の関連について—東大社研パネル調査とSSM調査の分析結果から— 茂木 暁(東京大学)
- ①-4 少子社会のパラドックス—家族政策か母親就労支援か— 白波瀬佐和子(東京大学)

②家族意識(D213教室)

司会 釜野さおり(国立社会保障・人口問題研究所)

- ②-1 親子関係における血縁—血縁がもたらす効果に着目して— 久保原 大(首都大学東京)
- ②-2 家族意識と「自立」との関係—若年がん経験者を対象に— 笠井敬太(大阪大学・院)
- ②-3 「あいまいな喪失」としての早期自然流産—当事者に対する聞き取り調査の分析を中心に— 加藤朋江(福岡女子短期大学)
- ②-4 「結婚」、「同性婚」、「同性愛／異性愛カップル」などの用語を批判的に検討する—SOGIに敏感な視点を家族研究に取り入れる試みとして— 大山治彦(四国学院大学)
- ②-5 Changes in Gender Ideology: The Analysis on "Iron Girl" and "Four Times Unsuccessful Housewifization" 李 睿(九州大学・院)

③家族政策(D217教室)

司会 藤崎宏子(元・お茶の水女子大学)

- ③-1 独自研究に基づく政策立案—EBPMは何をもたらすか— 田中重人(東北大学)
- ③-2 家族政策への宗教の影響に関するメタ分析 小島 宏(早稲田大学)
- ③-3 生殖補助医療の法制度化に伴う課題 南 貴子(下関市立大学)
- ③-4 ドイツの家族政策と近年の出生動向の関係 原 俊彦(札幌市立大学)
- ③-5 ドイツの家族政策における「多世代の家」プログラムの意義 魚住明代(城西国際大学)

テーマセッション(1) 企画全体提案型

第4回全国家族調査(NFRJ18)—特徴と現状—(D218教室)

オーガナイザー・司会 田淵六郎(上智大学)

- (1)-1 NFRJ18 実査の状況 田中慶子(慶應義塾大学)
- (1)-2 NFRJ18 調査票の特徴—このデータで何が分析できるのか— 保田時男(関西大学)

(1)-3 NFRJ18 質的調査の実施状況と今後の計画

木戸 功 (聖心女子大学)

(1)-4 NFRJ18 質的調査の対象と思想

松木洋人 (大阪市立大学)

ポスターセッション (D216 教室)

展示時間 1 日目 12:30~ 2 日目 13:45 質疑応答時間 1 日目 13:00~14:00

P-1 働く母親と「教育する家族」の多様化—階層間格差が幼児期の家庭教育に及ぼす影響—

額賀美紗子 (東京大学)

藤田結子 (明治大学)

P-2 【報告キャンセル】性的虐待ケースにおける親子分離の発生条件—虐待相談記録をもちいた esQCA による検討—

~~藤間公太 (国立社会保障・人口問題研究所)~~

~~余田翔平 (国立社会保障・人口問題研究所)~~

P-3 同性婚をめぐる結婚の機能論—エリザベス・ブレイクの「最小結婚」論を手がかりに—

久保田裕之 (日本大学)

昼食・委員会

12:30~14:00

午後の部

14:00~16:30

自由報告 (2)

④出生 (D212 教室)

司会 菅澤貴之 (熊本大学)

④-1 バングラデシュ農村におけるリプロダクションの変容と女性の健康

松岡悦子 (奈良女子大学)

④-2 子どもを持つ意欲と実現の世代性—ドイツにおける pairfam データの分析から—

山本菜月 (お茶の水女子大学・院)

④-3 生殖をめぐる「計画」の啓発—「ライフプラン」教育の前史としての「家族計画」教育—

由井秀樹 (静岡大学, 日本学術振興会)

④-4 世帯と母親の社会経済的地位と出生児の生存との関係—人口動態職業・産業別統計の二次分析による—

仙田幸子 (東北学院大学)

④-5 子育て環境の地域性と出生力—市区町村データからの接近—

岩澤美帆 (国立社会保障・人口問題研究所)

鈴木貴士 (筑波大学・院)

⑤ケア (D213 教室)

司会 後藤澄江 (日本福祉大学)

⑤-1 親密圏をめぐるジレンマ—純粋な関係性とケアの絆をいかに両立するか—

野辺陽子 (大妻女子大学)

⑤-2 家族介護のトレンド解析による家族の介護力の検討

涌井智子 (東京都健康長寿医療センター研究所, 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)

⑤-3 ヤングケアラーが担うケアと学校生活の関係—大阪府立高校の生徒を対象とした質問紙調査—

濱島淑恵 (大阪歯科大学)

宮川雅充 (関西学院大学)

⑤-4 家事・ケア労働者による産育実践とその受容—中国上海市を事例に—

翁 文静 (九州大学)

⑥歴史・人口 (D217 教室)

司会 平井晶子 (神戸大学)

⑥-1 1930 年代の都市近郊農家における家族戦略—福岡県農会『農家経済調査』17 世帯のパネル分析—

前田尚子

⑥-2 民事慣例類集から見る婿養子慣行—婿養子は結婚か、養子か—

大沼洋文 (麗澤大学・院)

- ⑥-3 近世海村における子どもの移動と再分配のメカニズム
—『野母村絵踏帳』を史料として— 中島満大 (明治大学)
- ⑥-4 歴史人口学から見る近世宿場町の女性たち—奥州松前道
郡山宿と東海道の宿場を対象として— 高橋美由紀 (立正大学)
- ⑥-5 【報告キャンセル】歴史人口学から見る「養子」
—在郷町郡山と周辺農村1708-1870年— 黒須里美 (麗澤大学)

テーマセッション (2) 国際セッション
ひとり親家族支援の日韓比較 (D218 教室)

オーガナイザー・司会 神原文子 (神戸学院大学)

- (2)-1 韓国における民間のひとり親支援団体の現状と課題
ソン・ジョンヒョン (協成大学校)
キム・ヒジュ (協成大学校)
チャン・ヨンジン (漢陽サイバー大学校)
- (2)-2 日本と韓国のひとり親家族支援の違いはどこに?なぜ?
神原文子 (神戸学院大学)
- (2)-3 韓国における脆弱層の妊娠・出産期間の社会的支援体制
キム・ヒジュ (協成大学校)
チャン・ヨンジン (漢陽サイバー大学校)
- (2)-4 日韓の未婚母/非婚母支援から見る嫡出子規範と女性の
エンパワメント
田間泰子 (大阪府立大学)

総会・学会賞授賞式 (D201)

16:45~18:00

懇親会 (D号館1階 Food Court Seagull)

18:15~19:45

第2日目 9月15日(日)

受付時間

8:45~

午前の部 1

9:15~10:45

自由報告(3)

⑦育児(D212教室)

司会 宮坂靖子(金城学院大学)

⑦-1 戦後日本家族と「子育ての連帯」—団地幼児教室における「民主主義」の軌跡と現在—

本多真隆(明星大学)

⑦-2 Venturing into the Local: The Effect of Japanese Parenting Organizations on Men's Community Engagement

小池エバン(University of British Columbia・院)

⑦-3 日本と韓国の未就学児を持つ母親の生活充実感—『82年生まれ、キム・ジョン』を手がかりにして—

岡村利恵(お茶の水女子大学)

⑧結婚・シングル(D213教室)

司会 永井暁子(日本女子大学)

⑧-1 モンゴル族の結婚に関わる要素の変容—内モンゴル農村地域での半構造化インタビュー調査を通して—

鳥 英嘎(中央大学・院)

⑧-2 非正規シングル女性の生活サステナビリティ展望の考察—「大阪市 非正規シングル女性調査」結果分析をもとに—

服部良子(大阪市立男女共同参画センター中央館)

森 詩恵(大阪経済大学)

岸上真巳(大阪市立男女共同参画センター中央館)

⑧-3 中高年期シングル女性の親子関係と老後設計

大風 薫(お茶の水女子大学)

⑨ネットワーク・世代間関係1(D217教室)

司会 立山徳子(関東学院大学)

⑨-1 中国80後男性のライフスタイル選択とジェンダー意識について

田 姫(お茶の水女子大学)

⑨-2 日本の母親のネットワークの実態と類型—韓国の母親との比較を通して—

米田 佑(東北大学・院)

⑨-3 中国における中年世代の生活実態からみる世代間関係—中小地方都市でのインタビュー調査から—

李 姝(中央大学・院)

ラウンドテーブル

英語での論文刊行を目指す研究者のためのワークショップ(D218教室)

オーガナイザー・司会 菊地真理(大阪産業大学)

久保田裕之(日本大学)

話題提供者: 竹内麻貴(山形大学)

中里英樹(甲南大学)

石井クンツ昌子(お茶の水女子大学)

午前の部 2

11:00~13:00

自由報告(4)

⑩ひとり親(D212教室)

司会 杉井潤子(京都教育大学)

⑩-1 親の不在状況と子どもの教育アスピレーション—「留守児童」世帯の子どもの分析から—

夏 天(慶應義塾大学・院)

⑩-2 <沖縄的状況>で子どもを産み育てること—沖縄の非婚シン

平安名萌恵(立命館大学・院)

— グルマザーの生活史インタビュー調査から —

- ⑩-3 シングルマザーの家族生活と仕事生活の調整に関する生活
戦略—インタビューデータを用いた質的分析— 末盛 慶 (日本福祉大学)
- ⑩-4 共同での子育てを実践するシングルマザーにみる育児サポ
ートの獲得—90年代におけるシェア居住の事例から— 永田夏来 (兵庫教育大学)

⑪家事・育児 (D213 教室)

- ⑪-1 共働き家庭の父親のゲーム・情報検索頻度が育児の IT 利用
を介して子ども評価に及ぼす影響—日・米・スウェー
デンの比較— 司会 村上あかね (桃山学院大学)
加藤邦子 (川口短期大学)
- ⑪-2 子育て期の夫婦にとっての家事の外部化とその意思決定 高山純子 (お茶の水女子大学)
- ⑪-3 高齢期の家事労働における規定要因の男女比較 金 允恩 (東京大学・院)

⑫ネットワーク・世代間関係 2 (D217 教室)

- ⑫-1 有職父親、母親のサード・プレイスとしての ICT 利用
—未就学児を持つ日本の親の場合— 司会 石川由香里 (活水女子大学)
佐野潤子 (お茶の水女子大学)
- ⑫-2 中国の一人っ子世代の親子・親族関係①—浙江省紹興市の
事例研究から— 施 利平 (明治大学)
陳 予茜 (明治大学・院)
- ⑫-3 中国の一人っ子世代の親子・親族関係②—女性対象者から
見た母娘の関係性— 陳 予茜 (明治大学・院)
施 利平 (明治大学)

テーマセッション (3) 国際セッション

アジア諸国における少子化—教育との関係に注目して (D218 教室)

オーガナイザー・司会 松田茂樹 (中京大学)

- (3)-1 アジア諸国における教育と少子化の関連についての理論
的背景 松田茂樹 (中京大学)
佐々木尚之 (大阪商業大学)
- (3)-2 韓国における超少子化現象と教育問題 金 鉉哲 (韓国青少年政策研究院)
裴 智恵 (桜美林大学)
- (3)-3 赤ちゃんはどこへ行ってしまったのか —シンガポールに
おける少子化問題と『トーナメント競争マインドセッ
ト〜』との関係— シム チュン・キャット (昭和女子大学)
- (3)-4 香港における少子化と教育問題—教育制度の変化とスタ
ートラインで勝つ心理の形成— 梁 凌詩ナンシー (東洋大学)
- (3)-5 台湾における少子化と教育問題 劉 語霏 (台湾・中国文化大学)

昼食・委員会

13:00~14:00

午後の部

14:00~16:30

公開シンポジウム

高齢社会における生/死と家族 (D201 教室)

企画・司会 山根真理 (愛知教育大学)
佐々木尚之 (大阪商業大学)

Is Family Care in the Community Sustainable?

Park, Keong-Suk (Seoul National University)

欧米の終末期医療とケア

—自己決定、安楽死、尊厳死、自然死、ACP—
多様化する家族と新しい墓制・葬送のカタチ

浅川澄一（ジャーナリスト）

安藤喜代美（名城大学）

討論者

西下彰俊（東京経済大学）

連絡事項

1. 参加登録及び参加費等の事前納付

● 大会参加登録

大会参加を希望される会員は、出来る限り、事前に参加登録と参加費等の納付を済ませてください。日本家族社会学会第29回大会ホームページ（日本家族社会学会ホームページより入る）から登録できます。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字8桁；上4桁は数字の0、下4桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

● 大会参加費・懇親会費の事前納付

事前納付は、郵便振替、あるいは、オンラインでの参加登録の際にカードでお支払いください。オンラインで参加登録されるときに、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と事前納付が同時にできます。

※第28回大会より、会員への郵便振替票の郵送が廃止となりましたので、郵便局に備え付けの払込取扱票をご利用になり、お振込みください。（他銀行から郵便振替口座へのお振込みも可能です。）大会費用の郵便振替口座は、Webより参加登録完了後、ご登録メールアドレス宛に自動配信される受付通知メールに記載されます。受付通知メールが不達の場合には、お早めにヘルプデスク <jsfs-desk@bunken.co.jp>までメールにてお問い合わせください。

なお、参加登録を当日行い、その場で支払うこともできますが、当日の受付業務の軽減のためにも、事前の参加登録と参加費等の納付をお願いします。事前登録された方には、ネームカードを用意します。事前に納付される方は、以下の通り、参加費等が割引となります。事前に登録されても、期限までに納付されない場合は、当日払いの費用になりますので、ご注意ください。

<<郵便振替またはカード払いの場合>>

* 郵便振替の場合の振込み手数料は本人負担となります（以下は手数料抜きの値段）。

一般：大会参加費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,500 円）
懇親会費（事前納付 4,500 円、当日払い 5,000 円）

学生・会費減額申請が承認された会員：

大会参加費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円）
懇親会費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,000 円）

2. 事前登録・事前納付の期限

- 大会参加の事前登録と参加費等の事前納付の期限は、次の通りです。

	参加登録期限	参加費等事前納付期限
①Webによる参加登録 +郵便振替による納付	8月22日(木)	8月22日(木)
②Webによる参加登録 +カード支払い	8月26日(月) 24時まで	8月26日(月) 24時まで

- ①の場合は、Web上の参加登録及び郵便振替による参加費等の納付ともに締切は8月22日(木)です。
- ②の場合は、Web上で参加登録と参加費等の納付を同時に行うこととなります。その期限は8月26日(月)24時です。
- いずれの方法を採られる場合も、上記の期限は厳守してください。とくに期限を過ぎた参加費等の納付は「事前納付」とはみなさず、大会受付で、当日料金との差額をいただきます。
- いずれの方法を採られる場合も、参加費等を事前納付された後は、万一、大会にご出席できなくなっても、参加費等の払い戻しはできません。
- 常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は2019年5月31日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ料金設定になります。
- 非会員で参加をご希望の方は、参加費等の事前納付の対象にはなりませんので、大会当日に受付までお申し出ください。非会員の方の参加費は、一般4,500円、学生3,000円、懇親会費は一般5,000円、学

生 4,000 円です。

- 大会の参加受付は、第 1 日目（9 月 14 日）は午前 9 時 15 分、第 2 日目（9 月 15 日）は午前 8 時 45 分からです。
- 事前納付は、事前納付時の身分（一般／学生・会費減額申請が承認された会員）により行ってください。その後に身分変更があった場合、対応致しませんがご了承ください。

3. その他の注意事項

● 報告要旨集

今大会より、報告要旨集の冊子版を廃止し、電子版の Web 要旨集のみとなります。Web 要旨集は、大会 HP 上で 9 月 4 日（水）公開予定です。大会当日、会場でのダウンロードはサーバーにつながりにくくなるのが想定されるため、できるだけ事前にダウンロードしてからご参加ください。

● 懇親会

大会第 1 日目（9 月 14 日）午後 6 時 15 分より、D 号館 1 階・Food Court Seagull（フードコート「シーガル」）にて懇親会を開催いたします。多くの会員と交流するチャンスです。ご参加いただければ幸いです。なお、懇親会費につきましても、事前納付された場合は、ご欠席されても払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。

● 昼食

両日とも、昼食は D 号館 1 階のフードコート「シーガル」をご利用いただけます。500 円程度の定食、カレーライス、麺類などを用意しております。

● 宿泊

宿泊につきましては、各自でお願いいたします。宿泊施設は混雑が予想されます。予約は早めにご手配ください。

4. 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告（口頭）の報告時間は 20 分、質疑応答は 5 分です。報告者と司会者は、セッション開始 10 分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかにかわらず、この時間に集合し、配布資料を会場系の学生にお渡しください。
- **大会当日の配布資料**
自由報告（口頭）は 50 部、企画全体提案型テーマセッションは 80 部を各自でご用意ください。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。配布資料が余った場合は、部会終了後、会場系の学生が「残部コーナー」（D215 教室）に移してくれますので、部会に参加できなかった参加者にも読んでいただくことができます。「残部コーナー」（D215 教室）に移された資料は、2 日目の 16 時 45 分までにお引き取りがなければ、大会事務局にて廃棄します。
- **自由報告（口頭）・テーマセッションの司会者の方へのお願い**
参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。
- **PowerPoint 等の使用に関する注意事項**
 - a. 報告会場となるすべての教室では、教卓にノート型パソコン（Windows, Microsoft Office）が備え付けてあります。
 - b. Microsoft-Power Point の pptx もしくは ppt 形式、あるいは PDF 形式で保存したデータを USB メモリに記録してお持ちください。
 - c. 機器を使用する報告者は、部会開始 15 分前に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行ないます。
 - d. 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
 - e. どうしてもご自分のパソコンを持ち込んで使用なされたい場合、開催校では HDMI ケーブルによる接続となります。
 - f. レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。
- **ポスター報告の方へのお願い**
ポスター展示の 1 日目開始時刻(12 時 30 分)までに、各自でポスターを掲示してください。ノリなど掲示に必要な文具は開催校で用意しています。また、2 日目の展示時刻終了後(13 時 45 分)、できるだけ

早急にポスターを回収しお持ち帰りください。

5. 大会期間中の託児室の設置

- 大会中、「合同会社 invi.light運営・保育サービスほーぷびくちやー」からの出張託児サービスを学内に準備いたします。ただし、利用は大会参加および託児を事前に申し込みされた会員に限ります。利用をご希望の方は、日本家族社会学会大会ホームページをご覧ください。利用要領をご了解のうえ、**2019年8月20日（火）**までに大会実行委員会へメールにてお申し込みください。お問合せも下記アドレスまでお願いいたします。

申し込み先：大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs-taikai@bunken.co.jp

6. 大会期間中の学内無線 LAN の利用

- 大会中、D号館2階の各教室、ラーニングラウンジ、1階のコミュニケーションモール、フードコート「シーガル」で学内無線 LAN を利用できるよう準備を進めております。接続に必要なパスワード等が記載された書類は受付で配付予定です。

7. その他

- 例年同様、出版社に書籍・雑誌を展示・販売いただくコーナーを開設いたします。申し込み・問い合わせは大会実行委員会事務局宛にメールにてご連絡ください。
- 例年同様、抜き刷り交換コーナーを設けます。なお当日の抜き刷り冊子の管理（展示、撤収など）については各自の責任で行ってください。
- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ (<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2019/index.html>) にも同様の内容を掲載しています。

会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

住所：〒650-8586 神戸市中央区港島 1-1-3

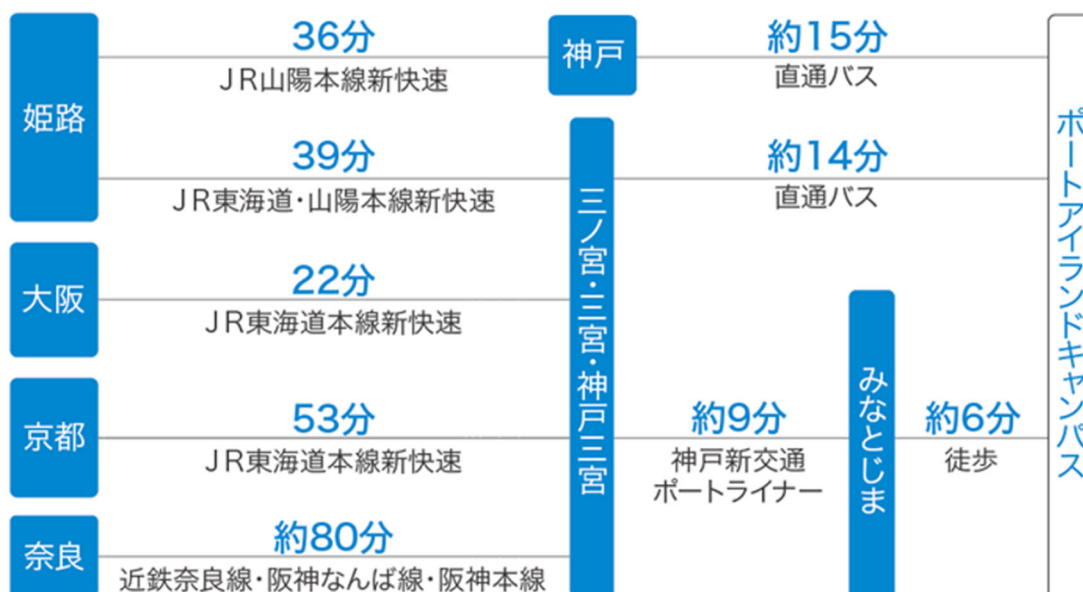
メールアドレス：jsfs-taikai@bunken.co.jp

大会本部（大会当日）：D号館2階 D207教室

【会場へのアクセス】

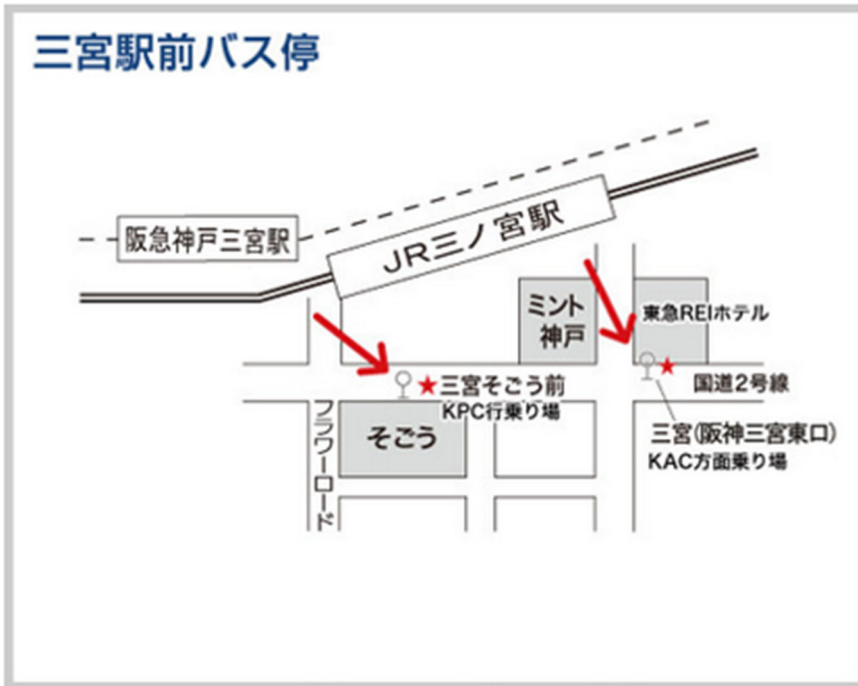
▽電車でお越しの方

- JR神戸線「三ノ宮駅」、阪急・阪神「神戸三宮駅」、神戸市営地下鉄「三宮駅」から、神戸新交通ポートライナーを利用し、「みなとじま」駅下車 徒歩約6分。

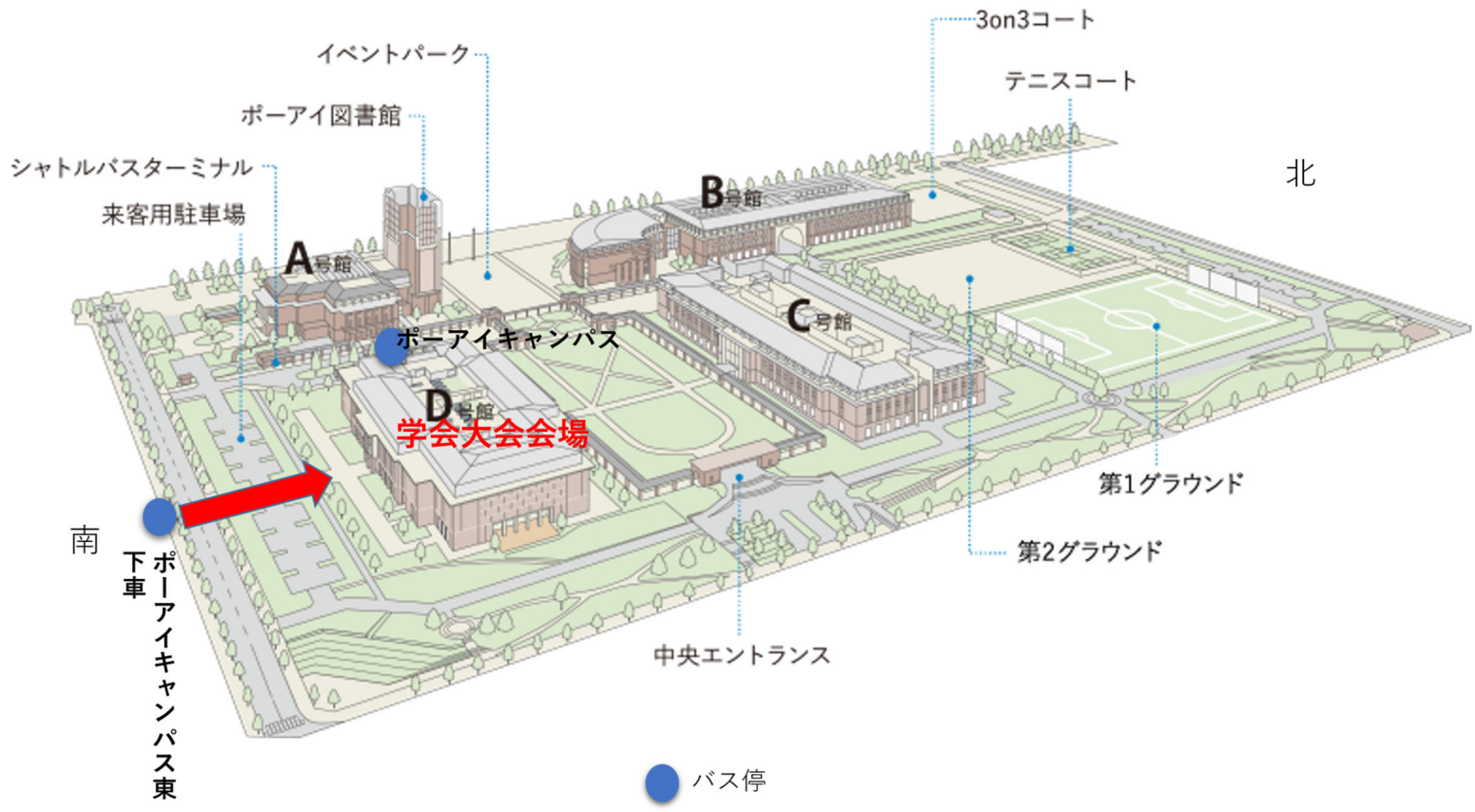


▽バスでお越しの方

- ・「三宮駅」から「ポーアイキャンパス行」直通バスを利用し（所要時間約 14 分）、「ポーアイキャンパス東」もしくは「ポーアイキャンパス」下車。
- ・直通バスは、「三宮そごう前 KPC 行乗り場」をご利用ください。
- ・バスの時刻表は、下記の Web ページをご覧ください。
https://www.kobegakuin.ac.jp/access/portisland_timetable.html
- ・また、お帰りの際は、「ポーアイキャンパス」バスターミナルをご利用ください。（「ポーアイキャンパス東」は、降車場所と乗車場所が異なります。また満員で乗車できない場合がございます）。

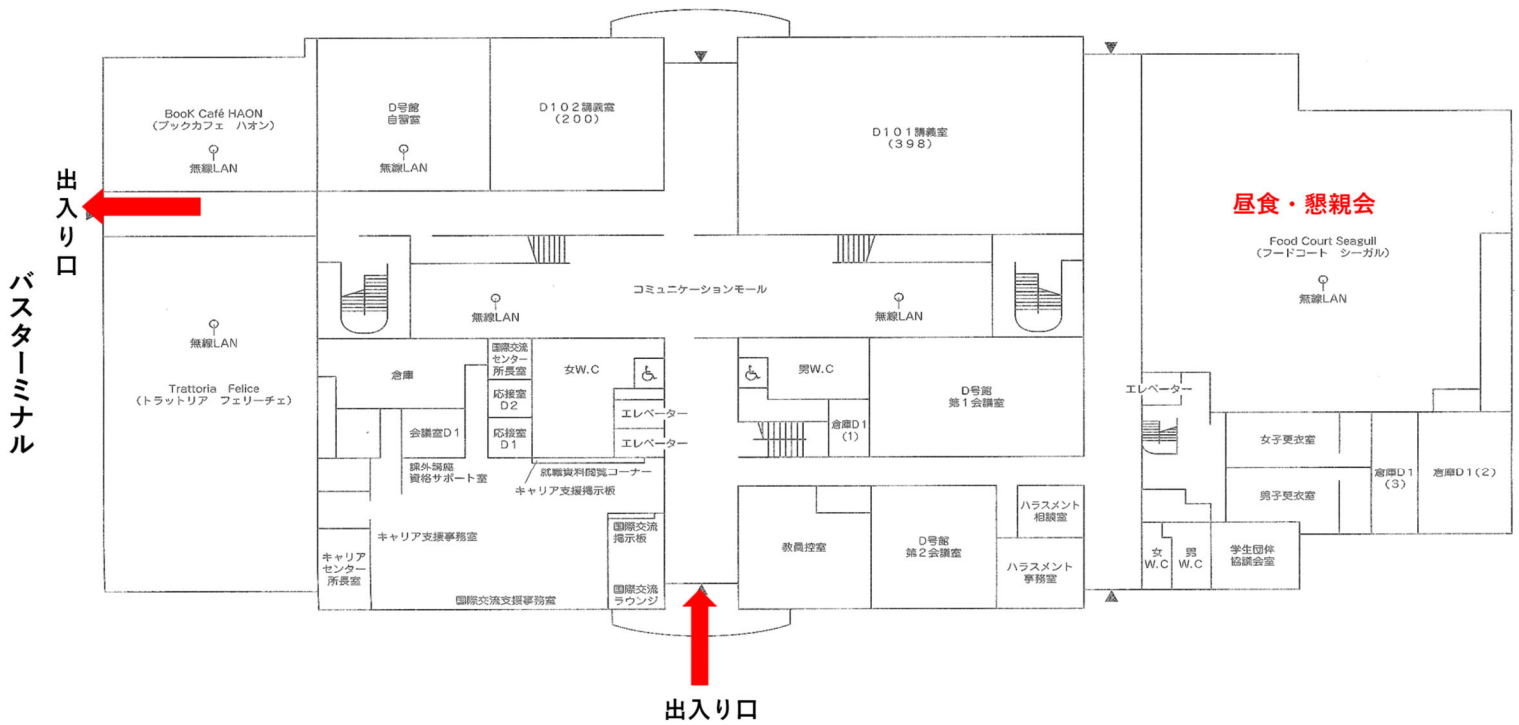


【神戸学院大学ポートアイランドキャンパス】



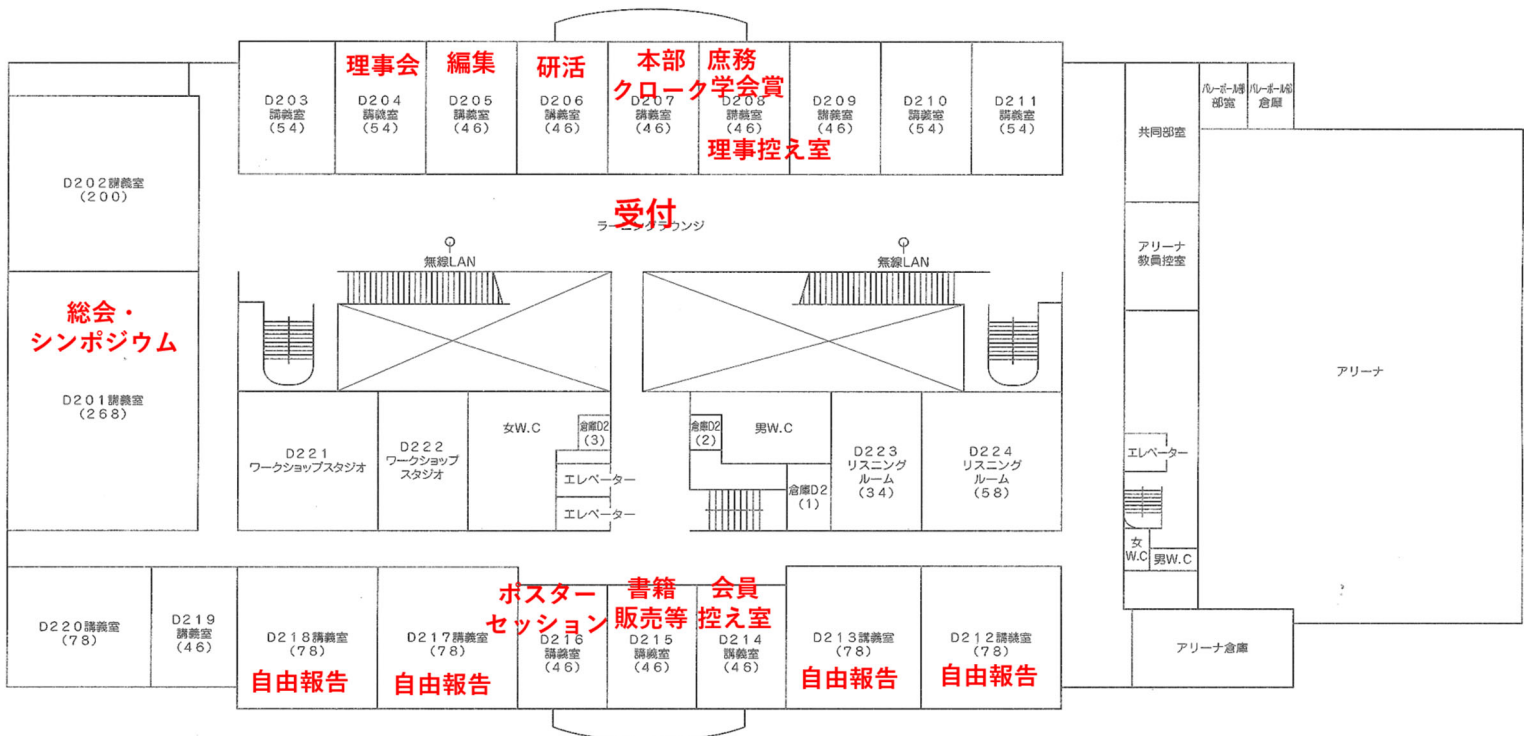
【D号館1階マップ】

D号館 1階



【D号館2階マップ】

D号館 2階



【大会実行委員】

実行委員長：神原文子

実行委員：都村聞人、高梨薫、永田夏来